

第3節 しんどかった話

1. 泥棒対策

桂 賢 一

その国の治安を思案するのに高級住宅の塀を見れば、ほぼ推測できる。私がマレーシアに着任するにあたり、耳にしたことは、諸外国に比較して治安については安心だと言うことだった。実際当地に足を踏み入れて感じたことは、乞食はいなし、塀は大人が踏台を使わず飛び越すことが出来る高さでした。町の至る所で建設工事が行なわれ、日本人もクワラルンプール近郊で五千名を教える程で、日本人学校やそのスクールバスにも制限があった。したがって、借家はかなりの高値を呼び、適当な家を選択する余裕もなかった。しかし60年代から原材料(石油、ゴム、スズ)が値下りし円高となり、マレーシア経済は急変し下落の一途をたどるようになった。日系企業の日本人の帰国が目立つようになり、同時に失業者が増加した。特にパスポートを所持せず、建設現場の仮設小屋で寝泊りしながら肉体労働をしているインドネシア人が、真っ先に失業の羽目に合った。彼等は身分証明書がないために正職に就けず、その日の生活にも困窮することは明白である。頃を同じくして泥棒被害が激増したのは確かであった。だが、好景気の時期でも Chinese New Year 及びハリャプアサ(モスリム正月)の前1カ月間は注意が必要であった。

それでは、私が耳にした泥棒被害状況を述べてみます。泥棒被害者は日本人とは限らずあらゆる人種に及んでいます。例1 人通りの少ない早朝、出勤のため車を外へ出そうとゲートを開いた瞬間、4人組の賊がベンツで乗り付けて家人を刃物で威し縛りあげ金品を強奪して行く。例2 泥棒が浸入した時留守番の老人一人だけだったので金銭を所持しておらず、隠し場所を捜し出せず、腹いせに老人の顔に刃物で裂傷をおわせて出て行く。例3 家人が就寝中に侵入して、ブラックドラッグと呼ばれる麻酔薬をかがして、時間を掛けて、金品を物色して持ち去る。例をあげれば切りがない。しかし、大部分の泥棒が空巢ねらいのコソ泥である。その件数となると、バンガロータイプの1軒家に居住する日本人に盗難の経験がありますかと質問すれば、殆んどの人が「Yes」と答えるでしょう。私が暮している地区でも一時期集中して盗難が発生した。ある例をあげると10年間暮していたが今まで1度も盗難に合わず、今回一時帰国にあたり、金目の物を他に預けて毎日、会社のスタッフがチェックに来ていたのに、やはり泥棒に入られたとの事。又、我がCIAST専門家のうち、1軒家に居住していた8専門家中、6専門家(10件数)が盗難に合う始末です。警察はただ盗難の被害届に対して調査を行い、盗難品証明書を保険のために発行する役目にしか感じられなかった。しかし、遅ればせながら、不法入国者を逮捕したり、町を定期的にパトロールするようになり、かなり件数が減ってきた。しかし、この不景気が続く限りまだまだ安心できそうにない。

では、我家の盗難体験談を話し、参考にさせていただければと思います。まづ我家の環境から、表側は人通り及び車も比較的多く、斜向いはガソリンスタンドが24時間営業で夜間もライトが消えることがない。隣家は三方接し、家屋間距離は5米程度で相対的に盗難に関係し難い環境であった。しかし、61年正月5泊6日の旅行から帰宅してみると、鉄格子が自動車のジャッキで押し開けられて侵入されていた。そこは夜間照明が行き届かない場所であったが隣家の窓側で最も接近している所であった。出発前には犬が外へ出ていかないように根根に金網を巡らし、餌を6日分準備して出かけた。だが、犬は1日分しか食べておらないにもかかわらず、我々を元気に出向えてくれた。多分ドックフードより美味な肉でも与えられたのであろう。台所窓から侵入した泥棒はC I A S T 互助会配付の各部屋連結警報ブザーをカットし、マスタールームへは天井ボードを破り侵入していた。そして薬1服のため小袋まで丹念に物色し、部屋中散かし放題であった。種々反省してみると、私にも落ち度があった。1つは、新聞配達を断わることができなかったからです。張り紙をすれば留守にすることが分かってしまう。よって、早朝配達人を待ち断わることにしたが、うまく連絡がつかなかったためです。今は新聞配達を断わってしまいました。何故なら、配達中止を連絡することにより少なくとも配達人には留守が分ってしまうからです。もう一つは、旅行用バックを持ち家外でタクシーを待ったため、通行人及び屋台で食事の人が見られたことにある。その後は、まづ家族とバックを自分の車で空港に送り、車を自宅に置いてから、私一人でタクシーに乗り空港へ行くようにした。この盗難から二カ月後、昼2時過ぎ、妻が帰宅し家へ入り椅子に腰掛けたとき、窓越しに室内を探索する泥棒の目と室内の妻の目がパッチリ合い、互いに驚愕。妻は入口のドアに鍵をかけたに走り、ドアを激しく叩いた。泥棒はそれで諦めたのか、角棒を投げ捨てゲート横のコンクリート塀を軽々と飛び越し逃げ去ったそうです。私は今回の泥棒は前回と同人物ではないかと推測した。各室のグリル式の窓ガラスをずらして、室内を一通りチェックし、角棒で鉄格子を押し開けようとしていたのだろう。又、真昼間暑くて人通りが少なくなる時間帯に侵入していることです。後で分ったのですが婦人の集りでその話をしたところ、容姿が似た泥棒に庭で出会って、金銭を巻き上げられた婦人が三名いたようです。他には庭で出会ってそのまま室内に入り込み、コンクリートが強盗に変身したケースもあったそうです。いずれにしても泥棒に感ずかれずに室内へ入れたのは幸運であった。これは塀が低く、簡単に侵入できるのが起因したと考え、直ちに鉄棒と金網を購入し、塀及びゲートの上にかさ上げし高くし簡単に飛び越えられないようにした。このようにその都度泥棒のタイプ及び情況も異なるので絶対的な対策は難しいが私なりの考えを述べてみます。1. 1軒家よりアパートに入居した方がより安全である。アパートは入口にガードマンがおり、そこでチェックされるから、泥棒が下調べ及機会を取らえることが難かしい。ある企業は日本人全員アパートに移るように命令した。しかし、アパートでも全く盗難の心配が消えたわけではなく、事実盗難にあっている。2. 泥棒の狙いの的にならないこと。外出時、

服装、装飾品は慎んだ方がよい。一度狙いをつけられてしまえば、家人が居ようと居まいに関係なく、武器を手にして押し入ってくる。又、強盗は家だけでないことを忘れずに。車を停止させられ、外へ引きずり出されて、身ぐるみ剥かれたケースもあった。

それでもなお一軒家に居住しなければならない方に、1) 家の環境は静かな場所よりは賑やかな方がよい。周囲に空地、小川、小道がないこと。庭に樹木が植えていないこと。桓根は高く、金網はペンチで簡単に切られるので意味なし。2) 信用できるステイアマを雇う。解雇したアマが泥棒を導びくケースもある。3) 必ず夜間照明を点灯する。外泊時は落雷でブレーカが作動して消灯することが多い。4) 鉄格子を二重に設ける。道具を使用すれば簡単に破られる。泥棒の心理に役立つかもしれない。そして、屋根からの侵入が以外に多いことをお忘れなく。5) 犬を飼う。犬の吠声で家人が早く気づく。しかし、高価な番犬を飼っている家でも泥棒にあってはいる。肉に毒を盛って殺害する。又はスプレー式の麻酔を吹き付け寝らせてしまうようです。7) アラームを設置する。雷で感知し近所からの苦情のため切っていて、肝心な時に役立たなかった例がある。

結論から言えば、抜本的な対策は見当らないようです。盗難に対しては保険でカバーして、ただ家族に被害がなければ、良と見なければなりません。

2. 自動車盗難顛末記

高 見 利 輝

朝起きたら、車庫から自動車が消えている。駐車場にもどると、駐車していたはずの車が消えている。この間、3ヶ月。3ヶ月の間に2度自動車を盗まれ、それから、1年6ヶ月かかって、一件ならぬ二件が落着く。わずらわしさとめんどくささは、日本ではとうてい味あわれぬものです。すべてが、解決するまで味わった、冷あせと油あせの物語のてんまつを以下に……………。

忘れもしない1985年5月12日、日曜の朝、長男が「お父さん、車がないよ、門があげばなしになっているよ」と少々興奮気味で言っているのを、ベッドの上で聞きました。「朝から、冗談いうな」といっていると、妻の頓狂な声が階下からしました。これは冗談ではないと、少々興奮しながら、ベッドから起きあがり、窓から外を見ると、確かに車はありません。門をひらきばなしです。階下におりると、引き出しという引き出し、すべてが開けられており、泥棒に入られたことは説明の必要もありませんでした。それを見て、一瞬、どうしようかと思ひ、警察と思いましたが110番ならぬ、999だったかなと思ひ定かでないので、三軒前隣の郡山さんに電話を入れました。彼はすぐ来てくれ、さっそく、警察に電話を入れてくれました。すぐ、二人の若い警察官が来てはくれましたが、あまり英語が通じません。近所に住んでいる、子供の英会話の家庭教師であるインド人のMr. ジェニスンに電話を入れ、すぐ来てもらいまし

た。被害程度を知らせている内に、CIAST専門家緊急連絡網によって、事の実情を知った仲間が次々とやって来てくれました。笠原リーダーも、ふだんの冷静さを欠いたのかしら、来られる時、車庫で車を少々ぶっつけられていました。そうこうしている内に、刑事 Ahmad が幼稚園児の男の子をつれて、やおらやって来ました。なぜか知りませんが子づれです。さらに今度は刑事に事情を説明していると鑑識係も来て、白い粉をそこらじゅうにまき散らして帰りました。あやしい指紋を見つけ出そうとするのではなく、一応カタチだけしたという感じですか。二、三日そのまましておきました。というのは後ほど来るのかと思ったけれど、それきりでした。刑事 Ahmad は帰る時、路上で盗まれたなら、まず出ないが、このような場合は出てくる可能性が高いと言って帰りました。そんなさなかに、長さんの拓ちゃんが門のわきで包丁を見つけ出して来ました。それは、我家で一番よく切れるドイツのゾーリンゲンのしろものです。それを見て、車を盗られて良かった、我身や家族の身に万一のことがあっていたら大変な事になっていたと思わず、身ぶるいしました。と申すのは泥棒が来た2時か、3時頃、私と二人の子供が物音に気がついていたので。さかんに我家の名犬スピー号がほえていました。まだ成犬にはなっていませんでしたが、けっこうほえる犬でした。以前にも、夜中にほえているので、私がベッドの上から、スピー、スピーと言うと静かになることがありました。今回は呼びかけても、静かになりません。そうしている内に、ガチャーという音がしました。隣室の長女が寝がえりでもして、何か落としたぐらいにしか考えていませんでしたが、それは、玄関の鉄格子の錠をこわした音でした。その後、スピーは激しくほえるのではなく、一定の間隔をおいてほえていましたから、私も何回かスピーをよんでそのまま再度、寝込んでしまいました。二男と長女がその時、目をさましていました。次男は犬がうるさいので水を二階からかけていました。ちょうど、その時は泥棒が裏のフェンスの金網をやぶっていた時でした。階下のもの音は、長男が冷蔵庫をあさっている音と後ほど語っていました。不幸中の幸、泥棒が車のキーを見いだしたので二階まで来なかったのです。被害は220万余りのトヨタ・カローラと妻の時計やネックレス等さらに車の中には、国際免許書やマレーシアの免許書、それに車の登録書やゴルフセットが入っていました。車は盗難保険に入っていましたので、さっそく手続きをとりました。ゴルフセットも、後日、ゴルフ保険に入っていたのを思い出したので、保険会社に電話を入れると、領収書とポリス・レポートを送って下さいとのことでした。数日後保険会社から電話があり、ゴルフ場とかゴルフへ出かける時の事故ではないので、保険は出ませんと言われました。私は、すでにおたくのAさんに事情を説明して請求書を送ったんですよと言いますと、後ほど、担当者から特別にOKしてくれました。

このマレーシアでは盗難にあうと、ポリスレポートといって、いつ、どこで、何を取られたかを証明する書類を所轄の警察署が発行してくれません。これがないと、保検等の請求は一切出来ません。こちらが言った通り、書いてくれますので、頼り無いと言ったら頼り無いですが、

これが無いと手続が一切進みません。

刑事 Ahmad は彼の書類作成にどうしても、自動車登録証が必要なので、再発行してもらうようにと電話をして来ました。それで、ポリスレポートを持って、クアラランプールの日本でいう陸運局の一部署へ行きました。場所もわからないし、マレー語が使われるのでローカルの友人に行ってもらいました。担当者は何々が足りないと言うので、又出なおしです。後日、言われたものを取りそろえて行くと、又これが足りないと言います。とにかく言われた通りするのですが、何だかんだと言って、一向に再発行してくれません。カウンターパートの Mr. Sumali とも行きましたが要領を得ません。とにかく発行したくないというのが彼等の姿勢です。刑事 Ahmad は、まだかまだかと電話をします。私はもうことが出来ないの、あなたが行ってくれるなら、私も行くと答えたなら、それきり電話はありませんでした。その部署へは 4～5 回行ったと思いますが、とうとうもらえませんでした。

一般に、自動車保険金は早くて 3 ヶ月、遅くて 4 ヶ月後には受け取ることが出来ると聞いていました。1985 年の 8 月に一時帰国しますので、この間に 3 ヶ月が来ます。ローカルの友人も再参、電話をしたらよいと勧めしてくれるので、私もしましたが、ローカルの友人を通してもしました。それは相手の都合の悪いことになる。「あなたがいっていることがわからない」とトボケルのです。都合のいい時は何でもわかるクセなのに。そうこうしている間に 8 月 4 日、ペタリンジャヤの市民会館の駐車場で、又も車を盗まれました。6 日の朝に一時帰国するので、当日のうちにポリスレポートを作ってもらいました。この車は、まだ私の名で登録は済んでいませんでした。というのは、この人はアフリカのザンビアへ転出する日本人で、車の代金を取りにマレーシアに来たら、その車はいらないと言われ途方に暮れておられたので、私が買うことにしました。彼がザンビアについたら、私がそこに必要書類を送って、登録後、お金を支払うことにしていましたが、まだ、ザンビアから手紙もとどいていませんでした。ローカルの友人を通して、保険会社へ通知をしてもらっていましたが、一時帰国を終えた後、正式に手続きを取り始めました。私の名義ではないので、万全を期して取り組みました。知りあいのローカルの保険代理人にも相談し、色々を知恵をかり、これなら OK という書類を作成して書留め便で郵送しました。

当地は車がないと身動きがとれませんので、あちこちと中古車を見て歩きました。サンディマーケットといって日曜ごとに自動車の売買市があちこちであります。一ヶ月ほどローカルの別の友人につれていってもらいましたが、とうとう適当なのを見つけたことは出来ませんでした。一台あったのですがそれは、よく調べるとエンジンから油もれしていました。それで中古をやめ新車にしました。この間、通勤は梅本さんと郡山さんの車に便乗さしてもらいました。そして、その新車が来る前日に、盗まれたカローラが見つかり、妻が刑事 Ahmad とクアラランプールの市内に確認に行っていました。何ということか、保険金も近日に出ると

いう事になっていたのに、仕事が終わって、帰宅するやいなや警察署に行って、車を確かめました。90%は私の車のようです。ナンバープレートは変えられ、車体番号も変造されていますが、エンジン・ナンバーはそのままでした。前後のバンパーが少々へっこんでおり、左フェンダーも少々へっこんでいます。すぐ家へ帰って、車のキーをもってきました。私の意に反して、一発でかかりました。出てこなくても良いのにと口の中でつぶやいていたのを今でも憶えています。翌日、保険会社に電話を入れると担当者と彼の上司が飛んで来ました。後ほどわかったことですが、彼は保険手続きを全々していませんでした。ただOK、OKと口だけ動かしていたわけです。4ヶ月以上もたっているのに保険金を支払わないばかりか、その前の処理もしていませんでした。さて、車が出てくると頭が痛いことに、自動車登録証が必要となってきます。これがないので車が出てきても、警察は車を私にくれません。それでカローラを買ったディーラーのMr. ヤップに相談すると、これはなかなか難しいですよといっていました。

なぜ、こんなにも難かしいかと申しますと、このマレーシアは盗難車が多く、車専門の盗みのシンジケートがあります。ですから、一夜に30台も同一の場所から盗まれたことがあります。新聞によれば、このペタリンジャヤでは毎日2台、クアラルンプールでは十数台盗まれます。それで登録証の再発行をしぶっているわけです。Mr. ヤップには300ドルほど色々と金を支払い、そして75日かかって、やっと手に入れました。この件で、彼の所へは5~6回足をはこびました。

75日の間、車は警察の駐車場に放置状態にされていました。5月に盗まれ、9月の末に発見、12月の中ごろに、やっと手に入り、修理工場に持って行き、年内に売却して、その金を二台目の車の人に払いました。さて、二台目の車は名義が私ではありません。それで保険請求の委任状等をもろうためにもザンビアまで手紙を送らなければなりません。郵便事情が悪いと聞いていましたので、同じ内容の手紙を1週おくれで、二度つつ送りました。返事は約1ヶ月後にきます。気が遠くなるような話です。これを5回ほどしました。

保険会社にも何回も何回も行きました。それは電話では話しが進まないからです。保険請求も書留め郵便で送りましたが、保険会社へ行って、担当者と話をしてみると、どこへ置いたかわかりません。色々ときがし、やっと見つけてきました。一事が万事この調子で、事毎に、担当者の横にすわらなければ、前へ進まないのです。私も仕事がありますから、休みの土曜によく行きました。こうして5ヶ月近くかかって、やっと保険金が出るようになりました。150万で買って、120万しか出ません。保険金額は200万なのに。担当者が言うには、あなたの車の市価は120万しかありません。不満でしたら、市価を調べてきて下さい。文句は言いましたが、私もつかれたので、それでいいと手をうちました。2台目の保険金は1986年の1月末に出ました。2台盗まれ130万円ほど損をしました。

盗まれた運転免許書の方は、結局1年4ヶ月かかって、再発行してもらいました。これは

JICAのクアランプール事務所のローカルの担当員が骨をおってくれました。それで私は関係官庁には行きませんでした。担当員はずい分、足をはこんだようです。それは、再発行するのではなく、A4判のサイズの紙に、この者は免許書を盗まれ、ただ今、再発行の手續中であるという担当者のサイン入りの証明書を発行してくれるのです。これが、けっこう高く、且、3ヶ月しか有効期間がありませんので、有効期限の一週間前に申請依頼すると次のがくるのに2ヶ月近くもかかるので古い期限切れの証明書を持ちつつ、ビク、ビクしながら運転していました。この仮免許の間が1年4ヶ月続きました。

これだけで事が終わったわけではありません。こんどは、裁判書から呼出しがかかったのです。日本でも経験したことがないのにノマレー語に書かれた呼出し状をカウンターパートに読んでもらいました。私は行きたくはないし、それに裁判で証言するほど英語の能力はありません。行かないと言ったら、カウンターパート達は行く義務があると言って、彼等の経験を話してくれました。結局3回行きました。指定された日をすっかり忘れていましたら、CIAS Tの方に電話があり、今、裁判が開かれている。あなたがいないと裁判が進まないと言ってきました。それで専門家会議中でありましたが、飛んで行きました。

この裁判は、被告が盗難車とは知らず、車を買ったと主張しているのです。彼は、私のカローラが発見された時、別に三台の盗難車をもっていました。それで、私が証人として呼び出されたのです。行くとすぐ証言台に立たされました。まず宣誓をしろというのですが何をしてもわかりませんので、キョロキョロしていると台の上に、宣誓書がありましたが、古くて、大部分すり切れています。もたもたしていますと、書記官のインド人がそばに来て、私に従って言えといいますので、とにかく、彼の後に従って宣誓しました。宣誓が終るやいなや、検事が事件の経過を読み上げ、それが真実であることを私に一つ一つ同意を求めます。しかしながら十分に英語がわかりませんので、何回か、もう一度、言ってくれといいました。彼はいやな顔をしましたが、私にとっても言い分はあります。もっと、きれいな発音をしてくれれば、わかるぞとノしかし、あいまいに返事はできませんので必死で聞いて、答えました。私の両脇から、冷たいあせが、すー、すーと流れ落ちているのを意識しつつ。証言は30分ほどですみましたが、私はすっかり疲れました。帰えろうとすると係官が午後、こんどは弁護士の番があるというのです。2時30分から、始まった弁護士による尋問は、被告がよくなるよう、しきりに私が午前証言したことをくつがえそうとします。すなわち、あなたの言っていることはあいまいな事だといいたいわけですから。それで、私も少々怒りがこみあげてきましたので、むきになって、下手な英語でずい分と反論しました。こんどは、冷あせでなく、油あせを出しつつ、奮闘しました。

このようにして、二件の盗難事件は解決しました。警察には30回以上、保険会社は10回以上、登録証のためには15回。裁判所は3回。土曜、日曜、休日それに昼休み中とか、出来

るだけ仕事に穴をあけないよう努力しました。しかし、ここに記していない、まだまだ大変な目にもあいやしたが、与えられている原稿枚数を今でも越えていますので、この辺で中絶したいと思います。最後に、皆様にたいへん御めいわくをおかけした事と、色々と援助して下さった事を心から感謝します。

JICAの任国事情の講師でも呼んで下さい。高額の授業料と多大の時間をかけて得た経験と教訓を語りたいと思います。ただし、講師料は安くはありませんよ!!

3. マレーシアでひいた風邪

西 方 純 朗

とうとうマレーシアの風邪を引いてしまった。かねてから、マレーシアの風邪は引くとなかなか抜けないと聞いており、日本のものと一味違うらしいとは思っていた。それをまさに引いてしまったのである。丁度1本しかない外れ籤を、いやトランプのババを引いてしまったあの感じである。

7月半ばの17日にボルネオ島のサバ州にあるサバ・ガス・インダストリーに出張、帰って来てから20日の日曜日には、よせばいいのにマレーシアの友人達に誘われて、ベントンの近くを流れる山間の谷川で水浴、そしてその晩のパーティー、26日のJICAゴルフコンペ等いい気になって体を使いすぎた感がある。

そして、27日日曜日の発病となったのである。その朝、起きてみると喉が猛烈にヒリヒリする。喉といわず口内、鼻の粘膜が全部やられている。そして咳が出る。そういえば、JICAゴルフコンペの16か17ホールでひどく疲れ、少しフラフラし木陰を求めて涼を取ったこと、その時すでに咳をしていたこと、トコトン体力を消耗し切った感じだったことが臆げに思い出される。そこで教訓

教訓 その1 ゴルフでは日傘をさして直射日光を避けること。また体調不十分の時はゴルフに行ってはならない。

私はもともと喉が弱いので、うがい薬のアズレオンとイソジンを持って来ており、常日頃アズレオンでうがいをよくしていた。そこでよもやこんなにひどく喉をやられるとは思ってもいなかったのである。早速アズレオンで何回もうがいをする。しかしヒリヒリはさっぱり治らない。28日、月曜日、喉のヒリヒリはさっぱり治っていない。かえって猛烈になっている。そしていやなことヒリヒリが次第に喉の奥の方にまで広がって行ったようだ。体温も37.4℃あり、体がだるい。CIAS Tに電話し休むことにする。29日、火曜日、だるく、喉は相変わらずヒリヒリする。なるべく厚着をし床に入り汗をかくようにする。しかし、ここは南国なのに思ったように汗をかかない。体温は次第に上昇して行く。咳もひどくなって来た。しかし不思議なことに頭は全然痛くない。日本の風邪だと薬を飲まなくても温かくして汗をか

けば熱も下がるのに温かくすればするほど体温が上るようだ。午後38.4℃になる。どうも私にとっては初めての菌らしいことに気づく。そこで教訓

教訓 その2 異国はやはり異国である。そこでは風邪までが異種類であり出会う菌は初めての菌と考えなくてはならない。

タクシーを拾い饒(ニヤオ)先生の所に行く。饒先生は前に腎臓結石を診てもらっているの
で「この様に熱が高いと腎盂炎の疑いがありますねー」とおっしゃり、尿の検査をして下さる。
結果は正常で腎盂炎の疑いは晴れた。消炎剤、抗生物質、解熱剤、胃腸薬を出して下さる。私
は抗生物質に多少弱いので、この抗生物質はどういう抗生物質かと質問したら普通の抗生物質
で飲んで熱が下がったらすぐ止めてもよいとのこと。帰宅後、抗生物質以外の薬を飲み熱が下
がり平癒することを祈りながら眠むられない床につく。30日一日中熱が高く汗をかく。特に
胸からの汗がすごい。咳が出る。31日にはどうやら平熱に戻ったば少しの風でも寒く感じる。
夕方、友人が奥さん手作りの夕食をわざわざ遠方から運んで下さる。全く有難く、その親切に
に涙の出る思いである。一人で生活していると食事がやはり問題だ。特に体調が思わしくない
時に食事を作るのは閉口である。そんな時に夕食を頂いたのだから全く感謝感激であった。友
人ご一家のご親切が身にしみる。翌8月1日金曜日には借物を返す約束がしてあったので已む
を得ず出勤、体調不十分ながら勤務出来てはととする。2日、土曜日、薬が切れたので再び饒
先生の所に行く。ところが饒先生は休診で代診の先生に診てもらう。日本語が通じないので英
語での問診となる。薬を貰ったが先生のとは別で、咳の薬は正に黒豆の煮汁そのものの薬だ
った。4、5、6、7日と出勤、しかし体調は完全でない。昼の食事に張切って数種類オーダ
したが一口食べてすぐ胸がつまった。食べられたのはミースープのミーだけ。同席の皆さんが
それではだめだもっと食べなくてはと励まして下さる。また、Wan 所長も心配して「どうい
う具合か」と聞いて下さった。そして、その時Wan 所長にマレーの谷川で泳いだのがまづかっ
たかも知れないと例の谷川での水泳の話をしたら、それは十分に考えられる、マレー人でも西
海岸の人が東海岸に行っただけで原因不明の高熱が出ることもあるとも話をされていた。私
の場合は単なる風邪であろうが、ともかく、ここで教訓。

教訓 その3 マレイシアは異国である。異国の自然に直接肌で触れる時は要注意。

7日夜、再び38.4℃となる。喉の奥の方はヒリヒリと相変らずだし、それよりも咳と痰が
止まらなくなってきた。1人での生活に不安を感じる。9日土曜日、熱が少し下がった。しか
し、咳と痰はひどい。友人が再び遠方から食事を運んで下さる。しかも、食欲が出るように取
り混ぜてある。全く有難く地獄に仏とはこのことだろう。いくら感謝しても感謝し切れない。
本当に有難い。10日、日曜日、どうしてもスーパーに買い物の必要があり、出かけたが普段
無んでもない冷房が非常に寒くとても十分な買物が出来ない。帰宅後、饒先生から貰っ
て飲まずにいた抗生物質を意を決して飲む。一時、貧血状態となったが治まりホッとす

一人でいると色々心配しなければならない。ともかくホッとする。うがいもイソジンに変えてみた。この方が結果はいいようだ。そこで教訓

教訓 その4 マレーシアでは喉からの風邪が多くしかも菌が強いから少し強めのうがい薬でうがいた方がよい。

11日、饒先生に行く。レントゲンを撮ってもらったら肺に3カ所痰が溜まっているとのこと。抗生物質を我慢して飲むように言われた。そこで教訓。

教訓 その5 ここでは抗生物質の反応テストはやらないから、抗生物質に過敏な人は自分に合った抗生物質を持参するか、日本の医師の処方を持参した方がよい。

丁度、饒先生の所で友人の奥さんにお会いした。後で聞いた話しでは奥さんは衰弱した私に驚かれたとのことであった。14日、饒先生に行く。平熱となった。先生は丁寧に肺を診て下さる。心配した肺炎にもならず平癒したとのこと。本当に安心する。しかし、まだ体力がないので大事にしていないとまづい。南国だというのに風が体にしみる。友人の奥さんが心配して漢方薬の強壯剤を見舞に下さる。本当に皆さんの温かい気持に打たれる。また、皆さんが暑い国での健康管理に苦労されていることが分る。そこで教訓。

教訓 その6 異国では、特に暑い国では、そこに住む人々が推奨する保健薬は常備しておく価値がある。

少しづつ体力も回復し、風邪も峠を越えたようだ。それにしても大変な目に会ったが、O I A S Tという大きな組織の中で皆さんの温かい励まして無事難関を通り抜けることが出来た。本当にありがとうございました。

余談になるが、饒先生は私が最後に診てもらった日の4日後の17日に亡くなった。私は、私を病から救って下さった饒先生に感謝をしようと思ってもそれが出来なくなった。何か運命的なものを感じる。

第4節 主婦たち

1. はじめのころ

佐々木喜代子

私の家族は、昭和58年10月1日に梅本、郡山両専門家及び長専門家の御家族と共に、マレーシアのクアラルンプールに赴任致しました。長期の赴任としては2度目でありましたが、やはり国が違いますと初めからやり直しの感がありました。到着してすぐ、クアラルンプールのフェドラル・ホテルに滞在しました。そこで色々の問題に直面しました。先づ子供の学校については交通の問題、お弁当、飲水等が大きな問題でしたが御世話して下さい方があって本当にたすかりました。又当時色々な問題がありましたが、笠原リーダーの御指導のもとに解決することが出来ました。早いもので、2年4カ月の滞在はあっという間に過ぎてしまいました。正に光陰矢の如しです。この滞在期間で特に深い印象として女性の洋服について述べてみたいと思います。それには先ずペトラさんと言う方を紹介しなければなりません。

彼女は日本の女性ですが、マレーシアの大使の第二夫人として結婚しました。現在は大使に先だたれて16才の男の子がおります。従って、彼女は自分で生計を立てて行かなければなりません。先ず彼女が直面した問題は、追われる様に大使の家を去らねばならなかった事です。子供をつれての彼女の心境は、この異国の地でいかばかりであったことでしょうか。幸いにして、現在は、自分で家を購入し、洋服を内職として生活しています。子供も陸軍の学校に通学しています。洋服の生地はインドネシアから輸入したバテックで、輸入税が5割かゝりますが、日本で買うよりは大変安く手に入ります。

ペトラさんの所へは、CIAST専門家の御婦人方、又殆どの企業の奥様方が仕立てにまいます。洋服一着の仕立料はマレードルで87ドル平均(約7,000円)です。さすがにデザイン、仕立が良く、日本でも充分着ることができ、好評を得ています。中国人の仕立屋さんでは、20ドル(約1,200円)位です。

ペトラさんを通じて、日本の知らなかった方達ともお友達になることが出来ました。同じ日本人の女性でも文化、習慣、宗教等、色々環境の異なった人生を送っている事に強い感盟を受けました。

2. 健康管理

清水芳江

熱帯性の気候の下でいかに健康で過ごすか、これは最も重要なことであるだけに大変に気を配った。

平均気温が24～33℃、雨期と乾期という経験したことのない東南アジア特有の気候、こ

の気候によって起る慢性疲労や食欲不振、多量の発汗による体力の消耗と体重減少、また伝染病や風土病、そして言葉や文化の違いによる精神的不安、このような肉体的、精神的疾病にかゝらないために、強い体力と精神力を造ることや、維持することが先づ必要であった。

(i) 伝染病や風土病に対する予防と対策

イ. コレラ　マレイシアは予防注射の必要もなく入国が出来るほど現在では発生率も低く、水道設備の整っていない地域に限られているようであるが、やはり生水や生物は絶対に摂らず、飲料水は必らず煮沸させてから使用し、冷奴でも軽く一炊きしたものを冷やして食した。

ロ. 破傷風　破傷風菌は汚染されたどぶや馬糞の中に分布しているが、この国では土壌の中にも菌が分布しているため怪我をした時は予防注射をしたり、切傷のある手で土をいじったりしないことであった。学童達も運動場での怪我には注意を払っていた。

ハ. マラリア　ハマダラカによって媒介される風土病で、都会には発生しないが、水のきれいな田舎に発生する。従って、そのような場所に出向く場合は蚊に刺されないように注意を払い、また予防薬等を用いたりする。

ニ. デング熱　都会に棲息する蚊によって媒介され、都会に多い風土病である。特効薬がないため、蚊に刺されない工夫をする。蚊取線香、ベープマット、蚊取スプレー等を使用し、また蚊の駆除、庭木の手入れや消毒、植木鉢の受皿の水にもポーフラが湧き易いため、常にきれいにしておくようにした。

ホ. 寄生虫　野菜栽培にまだ自然の肥料を使っている所もあるので、回虫、蟯虫、共につき易く、地元の児童には5割以上も寄生しているということで、生の野菜はなるべく避け、食する時はていねいに洗って食べた。戦後の日本を思い出してしまった。

ヘ. シラミ　先進国には全く考えられないことであるが、園児や小学校の子供達の頭髮にシラミが発生し、成虫の駆除には「ロレリン」などのヘアーローションを地肌にすり込み、卵はひとつひとつ取り除かねばならない。そして常に頭髮に注意し、洗髪を良くすることである。現地の人達には大人まで発生していたようだ。

(ii) 体力増進と精神衛生

イ. 食 事　健康を維持するには先ず食べることが最もウエイトを占めていると思う。最初に述べたように、体力の消耗が激しく疲労し易いため、水分や果実、蛋白質を充分にとり、高いカロリーを必要とし、しかもバランスのとれた料理と食欲をそそる味付けにする。暑い国ではスパイスをきかすことも必要である。幸いにマレイシアは肉類は安価で、野菜、魚類も豊富であり、果物は何よりも豊であるためビタミンの補給については心配はいらなかった。中でもパイアは食べ易く、ビタミンも豊富で消化を助けるという素晴らしい果物で、殆んどの家庭で一日一個は食べていた。また日本夫人達は時々集っては手料理を披露してお互に料理の研

究をし合った。そしてたまには外食をしたりして気分の転換を図った。また食品がかびたり、いたみ易いので食品の保存にも注意を払い、出来るだけ早目に食べるように心掛けた。

ロ. 適度な運動　ゴルフとテニスが盛んで、殆どどの男性がゴルフに参加、燃えるような太陽と、一面の緑、澄きった空気の中を歩き廻り、足や腰を鍛えた。また主婦もテニスや水泳、ヨガ、ボーリング等で身体を動かしてストレスを発散させた。

ハ. 休　養　暑い国では特に十分な睡眠をとり、休日にはゆったりとした気分で過ごすことも大切である。室内が暑く眠れないこともあるので就寝前に室内を涼しくする等の工夫も必要であった。また昼休み時間でも、短時間の午睡をすることは大事なことであった。日本の国内では昼寝は余り良く思われないが、暑い国では必要なことだと思う。

ニ. 趣味と娯楽　この国では、中国ペインティングとコパという銅板の彫刻があり、日本人には珍しいこともあり、夫人達の間では最も盛んであった。その他、絵画や刺しゅう、編物、読書、お茶、舞踊等自分の好きな趣味を持ち、楽しんだり、また時には海や山に出かけ、時には旅行したりして気分の転換を図った。これは精神衛生上大変に効果があった。

以上述べたような事柄に各自が注意と工夫をし、肉体、精神両面の健康管理と維持に努力した。計らずも病気になった場合は、多くの日本人は、日本の医大を卒業された医師に治療を受けた。一つには細々とした症状を日本語で訴えることが出来たからであった。また秀れた現地のメディカルセンターに行き専門医の治療を受たりした。私達C I A S Tのグループは先に赴任された方達のご配慮により、いろいろな面で適切なアドバイスを頂いたお陰で、心強く、不安も感ずることもなく、また健康を損うこともなく過ごすことが出来た。

3. ボランティア活動について

坂　本　嘉　子

ジャパクラブの婦人部「カトレア会」が携わっているボランティア施設は

ブキナナス身障者施設

セラシゴール聾唖学校

チエラスチルドレンズホーム

P.J スパスティックセンターがあります。

それぞれの施設での、日本人責任者の方々の、ご苦勞の何10分の1もお手伝いしていない身で、ペンを取るの大変おこがましいのですが……

「ちょっとのぞいて見ませんか？　誰にでもできる簡単な奉仕よ」

生来、出不精の私が、やっとう重い腰を上げたのは、来馬して半年近く過ぎていたでしょうか。同じアパートに住む友人の都合が悪く、替りに軽い気持ちで出かけたのがボランティアを始めるきっかけでした。

タクシーで行ける一番近い所という単純な理由で、スパスティックセンターの中のワークションショップを選びました。インド人の経営している私立の養護施設で、就学を終えた15才位から、大人の人達が働いていました。

マレーシア航空の機内イヤホーンを組み立てる、非常に簡単な作業でした。体に障害を持っている人にとっては、1本作るのも大変です。9時半から12時まで、間に20分位の休憩が入ります。1度使用したイヤホーンを洗っている人、拭いている人、手は何とか動かせる人達が、楽しそうに話しながら働いています。耳せんの部分だけを新しい物につけ替えて、組み立て包装します。これがエコノミークラスのイヤホーンです。もう1つはファーストクラスのためのもので、ブルーのスポンジを2枚ずつ同じ色合い、形を合わせて袋に入れ、とめて数を数える単純な仕事ですが、やはりセンターの人々だけでは、とても消化できないでしょう。

この仕事でそれぞれ少しづつ収入を得ているのです。少しは役に立っているなど実感します。他の教室には小学生もいます。インド人、中国人が多く、顔を見るとニコッと笑ってとても可愛いし、握手も求めてきます。

このような施設に入って勉強なり、仕事なりできる人は、まだ幸福なのでしょう。もっと貧しい人達を収容した、悲惨な所もあると聞きます。表面だけのお手伝いで、大きな顔などできないと思います。チエラスチルドレンズホームに1度見学に行った事があります。いわゆる孤児院です。親から捨てられた子、死に別れの子、目が「抱っこ!!」を訴えています。ちょっと遠いのでやめました。ここで奉仕する方々は大変だろうと思います。幼い子供相手はとってもつらい仕事です。

仲間誘ってくれた方々が次々に帰国し、1年間一緒に奉仕するのは長い位です。その中の1人、今日が最後という日、施設の人達と1人1人握手をして回りましたが、彼女の目からは涙が止まりませんでした。どうしても暗くなりがちなハンディを背負った人が、ここでは皆明るく、目が澄んでいて、素直でよけいにつらかったのでしょうか。私も、もらい泣きしてしまいました。贅沢三昧の今の子供達に、見せておかなければと思いながら、月に1度の少ない回数や学校の休みと合わず、できずにいる事が悔やまれます。

このボランティアを契機にして、家にとじ込もっていた私は、続いてコーラス部にも入りました。下手でも歌う事は好きだったし、ボランティア仲間イコールコーラス部でしたので。素晴らしい指導者に恵まれ、月2回のレッスンが非常に待ち遠しく思われました。声楽、ピアノの2人の先生方も無償で教えて下さいます。これもボランティアです。日本では考えられない事です。一流の先生にタダでフツウの主婦が習っているのです。日頃のうっぶんを歌にぶつけて、雑事を忘れストレス解消の本当に楽しいひとときです。

このコーラス部でも年に1度、ボランティア活動の一環として老人ホームへの慰問があります。カトリック系の清潔な広々とした明るいホームです。寝たきりでない動ける人々だけホー

ルに集まり、私達の歌に耳を傾けてくれます。その歌の意味はわからないでしょう日本の歌でも、少しでもお年寄りの心がなごめば、何となく良い事をしたようで、気分爽快です。

このカトレア会の一番の年内行事に、チャリティバザーがあります。その日のために半年以上前から、地区別に手作りの奉仕作業をします。日本人同志の親睦を深めるのも目的の1つですが、当日は食品も作り、ローカルの人々に売り、売上金を施設に寄附します。年々盛大になり、現地でも、とても待ち望んでいるようです。

次女が中三になる直前から、滞在年数の多い順、子供の学令の高い順で、日本人学校の地区別バス委員を引き受けました。学校運営下になっていない通学バスの世話係です。乗車人数の把握、ドライバーとの連絡等が主な仕事です。出入りのはげしい春休み、夏休みは大変です。来馬した当時、15人もいたこのアパートの生徒数も、わが娘1人になりそして又、今年は10人以上と、何ともめまぐるしい変化です。

このバス委員も、PTAの役員も、地区のバザー委員も、カトレア会の役員も、大きく考えれば全てボランティア活動に入るでしょうか。

考えてみると、子供から手が離れて久しく日本では、ボランティアに心をそそぐ精神的、時間的、経済的余裕がありませんでした。

主人がマレーシアで働かせていただいている、その感謝の気持ちを私達主婦は少しでも自覚し、ひまな時間、あまる体力を提供する事は、とても有意義と思います。

帰国してからも、このボランティア活動をきっかけとして、少しでも何かお手伝いできる事を始めてみようと思っています。

第5節 子供たち

1. インターナショナルスクールでの経験

坂本優子

「マレーシアに行きたいか？」とう父に問われたのは私が中二の時だった。海外への好奇心、そして高校受験を受けずにすむと思う軽い気持ちで私は行きたい、と答えていた。

実際マレーシアに来た事は私にとって随分プラスになったと思う。やはりインターナショナルスクールに行けた事が大きいのではないだろうか。

話を中二の頃に戻そう。マレーシアに行きISKLに入るとなると、英語の勉強をしなければならない。私は、ラジオの英語講座を聞いた。又、近くの英会話教室に行ったり、アメリカ人の家庭へも訪問したが、トランプやビデオゲームをするので終ってしまった。

ガタガタしているうちに一年が過ぎ中三の8月になり、マレーシアへ行く事になった。来馬してから直ぐに、ISKLの入学テストを試しに受けてみた。この試験では、聞き取り、読み取り、反対語、そして作文の力を試させられた。IPクラスへ入る事が出来たのだが、中三の二学期から、日本人学校に入る事にした。たった4ヶ月だったが、楽しい日々を過ごした。1月に卒業後、再びISKLの入学試験を試みた。友達的答案用紙と違えたのか、それとも運よく前と同じテストのお陰げかどうか知らないが、ESLに入る事が出来た。

いよいよ、インター生活が始まった。とにかく最初の半年はきつかった。特に世界史、地学は大変だった。先生の言っている意味が分からない、Reportはある、テストはめちゃくちゃで、地学は落とされる。もちろん歴史の成績は悲惨。だが楽しい事もあった。コーラスのクラスでペナンの姉妹校へ行ったのはそのうちの一つだろう。3日間歌いっぱなしで非常に疲れたが、良い汗を流したと思う。

次の一年間は充実したものだった。だいぶ学校の生活にも慣れ、先生の話している事も分かってきた。でも地理はほとんど毎日小テストがあって、暗記力の乏しい私にとっては苦痛だった。又、ESLをなかなかぬけられず内気のせいでもなかなかSpeakingを上達できない私を責めたりもした。そんな私にとってギターの授業は心休まるものだった。先生が穏やかで優しくもうお年なのだが、とっても良い先生だったので、私はこの授業が一番好きだった。

そして学年が又一つあがり、11年生に進級した。やはり一番大変だったのは東南アジアの歴史だった。先生はハンサムで素敵な人だったけど、難しい教科だった。テストでEssayを書かされもしたが、なんとかパスする事が出来た。

又インターに入学して以来、始めてクラブ活動にも参加した。運動はまるっきりダメなのだが、1回ぐらい部活をやってみようと思い、友人も一緒にテニスに挑戦してみた。毎日放果後残って頑張ったのだが、テニスをやり始めてから半年しか経ってなかった事と、インターの部

活は時期ごとに分かれていて、その時期の終りにある大会に向けての練習が主なのでダメな人はどんどん cut される、という事だったので、私の部活動は直ぐに終わってしまった。

これが、私のマレーシアに来る前から現在に至る思い出だが、これからマレーシアに来る予定で I S K L に入学を希望していらっしゃる方に少しでもお役に立てれば嬉しい。

こうやってマレーシアという国に来られて、インターナショナルスクールという学校で学べた事にとっても感謝している。これからまだ後一年間の学校生活があるが、今までより更に充実したものにしたい。

I S K L = International School of Kuala Lumpur

I P = Intensive Program

E S L = English as a Second Language

2. 「子女呼び寄せ」でみたマレーシア

丸 山 良 弘

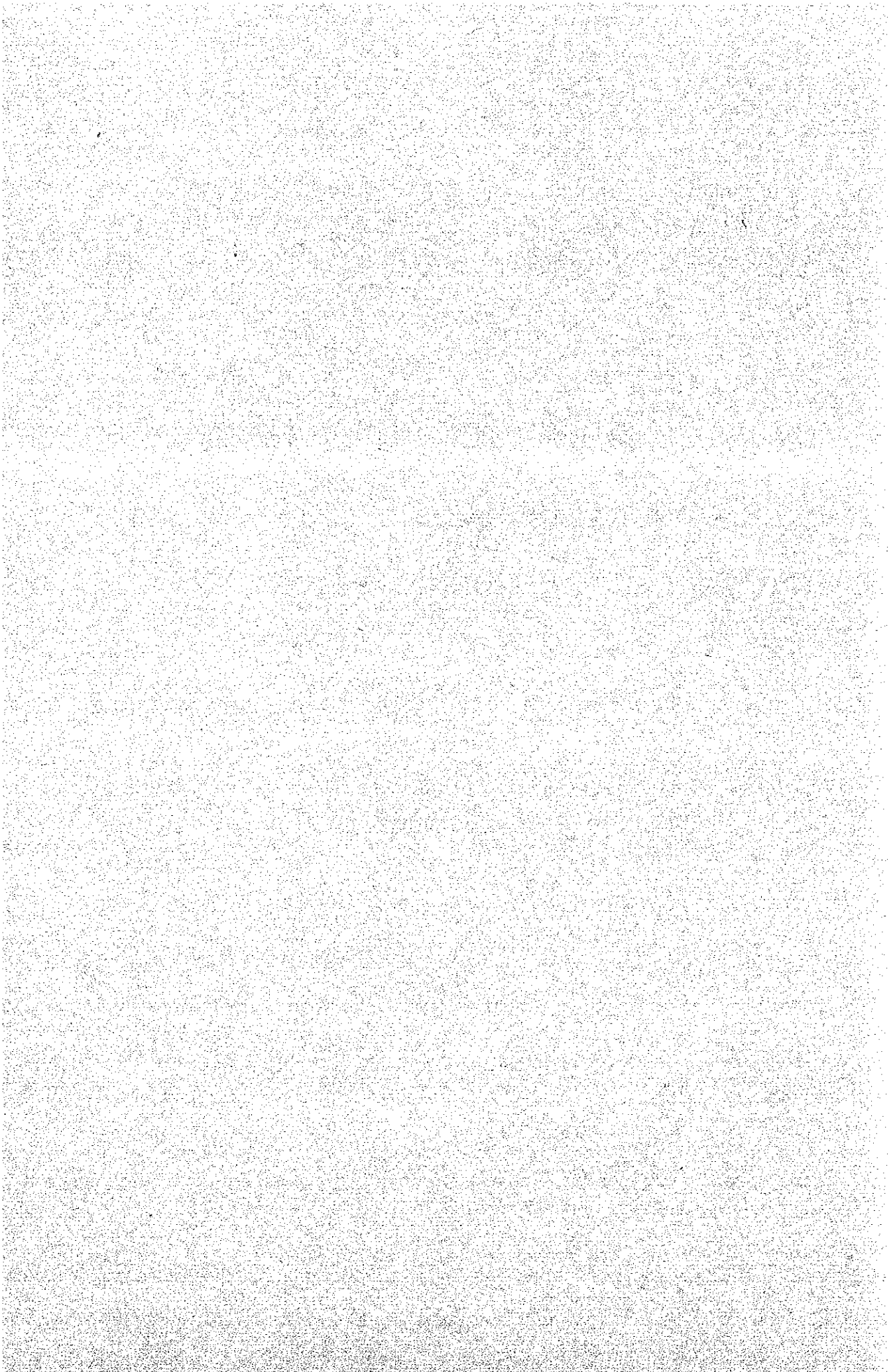
マレーシアという国は、日本人にとって南国のビーチリゾートというイメージが強く、大変素敵な国としてマスコミその他で報道されている。玉ねぎ型のドームを持つイスラム教寺院、白いコロニアル風の邸宅、常夏の太陽の陽に輝くエメラルドグリーン的大海と白い砂浜、南国の植物がおい茂るジャングル、とこんな風に。しかし実際のマレーシアはこのように素晴らしい面ばかりを持つ国ではないようである。実際に、素晴らしい風景や大自然に囲まれた国であることには違いなく、その点では日本で報道されているマレーシアのイメージそのものであったが、社会的な問題、あるいは経済的問題においてはほとんど報道されていないように思える。また一般の日本人は知らずに済むことでもある。

日本ではパック旅行が大変な人気を集めており、マレーシアにもたくさんの観光客が訪れるようであるが、本当にマレーシアを理解して帰った人が果たして何人いるだろうか。もちろん私の場合も本当にマレーシアを理解したわけではない。パック旅行というものは比較的その国の上辺だけの観光地しか見ることができず、その点では、その国の実態を見ることはむずかしいと思う。観光というものはそのようなものだと言われればそのとおりで、何も反論する余地はないが、マレーシアをより深く、社会的に理解することも観光をする上で必要なことだと思う。観光地を回っているうちはあまり気付かないが、原地の人の日常にふれると、開発途上国特有の社会性あるいは人間性が見えてくる。それを日本と比較するだけならまだいいが、軽蔑の目で見てしまうときがある。しかし海外旅行の本質は、もっと大きなものであるように思える。生活様式自体が日本とちがっているため、多少の不満が出てくるのはしかたがないが、その点だけをとって日本と比較することは的外れだと思う。現在の日本は高度に発展しているため、他の国が遅れて見えるのは当然なことで、その点を理解した上で海外を見つめる必要があ

るように思う。海外旅行を楽しむためには逃げ腰の海外旅行ではなく、実際にその国の生活様式に溶けこむ努力をすることで得ることができるのではないだろうか。とこぞとばかりに最高級のホテルに泊まったり、最高級のレストランで食事をするのではなく、ときにはタクシーを使わずに現地のバスに乗ってみるとか、昼食を現地の人と一緒に食べるのも楽しいと思う。またそこから日本にはないすばらしい一面を見ることができないのではないだろうか。

今回のマレーシアの滞在は20日間と比較的長かったため、旅行というよりも実際にマレーシアに住んでいるような感覚で生活することができた。その分、今後親しみをもって観ることができると思う。現在のマレーシアは、人種問題、宗教問題などいろいろな問題をかかえている国ではあるが、一方それらを解決すべく、ルックイースト政策、プミプトラ政策など諸政策が打ち出されている。今後の発展を期待したい。

第 4 部 資 料



資料 1. 訓練の実績

DEPARTMENT: INSTRUCTOR AND SUPERVISOR

SECTION : PEDAGOGY

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	TM.1	Instructor Training	9. 1.84 - 10. 8.84	20	11	11	-
2	TM.2	Basic Training Methodology	28. 5.84 - 8. 6.84	12	16	16	-
3	TM.2	Basic Training Methodology	9. 7.84 - 20. 7.84	12	12	12	-
4	TM.2	Basic Training Methodology	30. 7.84 - 10. 8.84	12	19	19	-
5	TM.9	Basic Instructional Techniques for In-Plant Trainers.	10. 9.84 - 14. 9.84	12	14	14	-
6	TM.9	Basic Instructional Techniques for In-Plant Trainers.	10. 9.84 - 14. 9.84	12	14	14	-
7	TM.9	Basic Instructional Techniques for In-Plant Trainers.	17.12.84 - 27.12.84	12	14	14	-
8	TM.1	Instructor Training Course	7. 1.85 - 7. 6.85	20	40	38	2
9	TM.9	Basic Instructional Technique for Inplant Supervisors	11. 2.85 - 15. 2.85	12	10	10	-
10	TM.9	Basic Instructional Techniques for Inplant Supervisors	11. 3.85 - 15. 3.85	12	14	14	-
11	TM.9	Basic Instructional Techniques for Inplant Supervisors	19. 7.85 - 3. 8.85	12	14	14	-
12	TM.2	Basic Training Methodology for Instructors.	15. 7.85 - 26. 7.85	12	9	9	-
13	TM.2	Basic Training Methodology for Instructors.	1. 7.85 - 12. 7.85	12	17	17	-
14	TM.3	Skill Analysis	5. 8.85 - 16. 8.85	12	10	10	-
15	TM.3	Skill Analysis	19. 8.85 - 30. 8.85	12	8	8	-

DEPARTMENT: INSTRUCTOR AND SUPERVISOR

SECTION: PEDAGOGY

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
16	TM.2	Basic Training Methodology for Instructor	9. 9.85 - 20. 9.85	12	11	11	-
17	TM.5	Audio Visual Aids	2. 9.85 - 13. 9.85	12	4	4	-
18	TM.2	Basic Training Methodology for Instructor	7.10.85 - 18.10.85	12	4	4	-
19	TM.1	Instructor Training Course	30. 9.85 - 21. 3.86	20	13	11	2
20	TM.5	Audio-Visual Aids	17. 2.86 - 28. 2.86	12	12	12	-
21	TM.4	Written Instructional Material	17. 3.86 - 28. 3.86	12	9	9	-
22	TM.2	Basic Training Methodology For Instructor	24. 3.86 - 4. 4.86	12	8	8	-
23	TM.3	Skill Analysis	14. 4.86 - 25. 4.86	12	10	10	-
24	TM.9	Basic Instructional technique For Implant Supervisor	21. 4.86 - 25. 4.86	12	9	9	-
25	TM.5	Audio Visual Aids	12. 5.86 - 23. 5.86	12	13	11	2
26	TM.2	Basic Training Methodology For Instructor	19. 5.86 - 30. 5.86	12	13	11	2
27	TM.3	Skill Analysis	16. 6.86 - 27. 6.86	12	21	20	1
28	TM.4	Written Instructional Material	30. 6.86 - 11. 7.86	12	21	20	1
29	TM.5	Audio Visual Aids	14. 7.86 - 25. 7.86	12	21	20	1
30	TM.6	Test and Testing	28. 8.86 - 8. 8.86	12	21	20	1
31	TM.1	Instructor Training Course	5. 6.86 - 3.10.86	20	29	25	4

DEPARTMENT: INSTRUCTOR AND SUPERVISOR

SECTION: PEDAGOGY

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
32	TM. 20	Module Training System design	27.10.86 - 7.11.86	12	5	5	-
33	TM.7	Training Administration	13.10.86 - 17.10.86	12	8	8	-
34	TM.1	Instructor Training Course	16. 6.86 - 13.11.86	20	41	41	-
35	TM.5	Audio Visula Aid	1.12.86 - 12.12.86	12	11	11	-
36	TM.5	Audio Visual Aids	12. 1.87 - 23. 1.87	12	8	8	-
37	TM.6	- DO -	16. 3.87 - 27. 3.87	12	11	11	-
38	TM.2	Basic Training Methodology	30. 3.87 - 10. 4.87	12	13	13	-
39	TM.4	Written Instructional Material	8. 6.87 - 19. 6.87	12	18	18	-
40	TM.2	Basic Training Methodology	6. 7.87 - 17. 7.87	12	13	13	-
41	TM.1		2. 3.87 - 31. 7.87	20	43	35	8
		TOTAL		540	623	600	23

DEPARTMENT: INSTRUCTOR AND SUPERVISOR

SECTION : SUPERVISORY SKILL

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	ST.2	Quality Control	4. 3.85 – 15. 3.86	12	7	7	–
2	ST.2	- do -	15. 5.85 – 24. 5.85	12	3	1	2
3	ST.2	- do -	24. 6.85 – 5. 7.85	12	3	3	–
4	ST.2	- do -	17. 9.85 – 27. 9.85	12	4	4	–
5	ST.2	- do -	4.11.85 – 15.11.85	12	9	7	2
6	ST.5	Leadership and Human Relation	23. 9.85 – 4.10.85	10	8	8	–
7	ST.6	- do -	28.10.85 – 8.11.85	10	11	11	–
8	ST.1	Method and Work Study	3. 3.86 – 14. 3.86	12	10	10	–
9	ST.5	Industrial Safety	21. 4.86 – 25. 4.86	10	10	10	–
10	ST.4	Maintenance Management	29. 9.86 – 10.10.86	10	13	13	–
11	ST.3	Production Planning and Control	20.10.86 – 31.10.86	10	4	4	–
12	ST.2	Quality Control	3.11.86 – 14.11.86	12	10	10	–
13	ST.1	Method & Work Study	17.11.86 – 28.11.86	12	11	11	–
14	ST.4	Maintenance and Work Study	12. 1.87 – 23. 1.87	12	7	7	–
15	ST.5	Industrial Safety	12. 1.87 – 16. 1.87	10	10	10	–
16	ST.2	Quality Control	12. 1.87 – 23. 1.87	12	7	6	1

DEPARTMENT: INSTRUCTOR AND SUPERVISOR

SECTION : SUPERVISORY SKILL

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
17	ST.1	Method of Work Study	23. 3.87 - 3. 4.87	12	8	8	-
18	ST.5	Industrial Safety	20. 4.87 - 23. 4.87	10	7	7	-
19	ST.6	Leadership and Human Relation	6. 4.87 - 17. 4.87	10	7	6	1
20	ST.5	Industrial Safety	15. 6.87 - 18. 6.87	10	7	7	-
21	ST.4	Maintenance Management	15. 6.87 - 26. 6.87	10	7	7	-
		TOTAL		232	163	157	6

DEPARTMENT: AUTOMOTIVE

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	A1.1	Specialized Engine	13. 8.84 - 30. 8.84	10	8	8	-
2	A1.3	Electrical Equipment	12.11.84 - 30.11.84	10	4	4	-
3	A1.2	Fuel Injection System Service	28. 1.85 - 9. 2.85	10	10	10	-
4	A1.1	Specialized Engine Service	25. 2.85 - 18. 3.85	10	10	10	-
5	A1.3	Engine Equipment and Electronic Equipment Service	19. 3.85 - 5. 4.85	10	12	12	-
6	A1.2	Fuel Injection System Service	8. 7.85 - 29. 7.85	10	4	4	-
7	A1.2	Fuel Injection System Service	29. 7.85 - 13. 8.85	10	9	9	-
8	A1.1	Specialized Engine Service	19. 8.85 - 10. 9.85	10	7	7	-
9	A2.1	Engine Trouble Analysis	19. 8.85 - 10. 9.85	10	5	5	-
10	A2.1	Engine Trouble Analysis	17. 9.85 - 4.10.85	10	7	7	-
11	A1.3	Engine Electrical & Equipment Equipment Service	14.10.85 - 1.11.85	10	7	7	-
12	A5.1	Vehicle Body Part Repair	- ditto -	8	2	2	-
13	A1.2	Fuel Injection System Service	18.11.85 - 3.12.85	10	10	10	-
14	A1.1	Specialized Engine Service	21. 1.86 - 7. 2.86	10	8	8	-
15	A1.2	Fuel Injection System Service	17. 2.86 - 28. 2.86	10	3	3	-
16	A6.1	Vehicle Regular Checking	17. 2.86 - 28. 2.86	10	8	8	-

DEPARTMENT: AUTOMOTIVE

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
17	A2.1	Engine Trouble Analysis	17. 2.86 – 7. 3.86	10	3	3	–
18	A1.3	Engine Electrical & Electronic Equipment Service	3. 3.86 – 21. 3.86	10	3	3	–
19	A1.2	Fuel Injection System Service	7. 4.86 – 18. 4.86	10	6	6	–
20	A1.1	Specialized Engine Service	12. 5.86 – 16. 8.86	10	7	3	4
21	A3.1	Engine Performance Test	28. 7.86 – 16. 8.86	10	7	3	4
22	A6.2	Vehicle Inspection	7. 7.86 – 18. 7.86	10	9	9	–
23	A2.1	Engine Trouble Analysis	25. 8.86 – 12. 9.86	10	5	5	–
24	A1.1	Specialized Engine Service	15. 9.86 – 3.10.86	10	12	12	–
25	A1.2	Fuel Injection System Service	6.10.86 – 17.10.86	10	7	7	–
26	A1.2	Fuel Injection Pump Service	7.11.86 – 28.11.86	10	6	6	–
27	A1.3	Engine Electrical and Electronic Equipment	7.11.86 – 5.12.86	10	8	6	2
28	A5.1	Vehicle Body Parts Repair	5. 1.87 – 23. 1.87	8	6	5	1
29	A1.1	Specialized Engine Service	12. 1.87 – 3. 2.87	10	8	8	–
30	A2.1	Engine Trouble Analysis	9. 2.87 – 27. 2.87	10	5	5	–
31	A5.3	Vehicle Body Parts Painting	23. 2.87 – 13. 3.87	8	6	6	–
32	A1.3	Engine Electrical and Electronic Equipment Service	2. 3.87 – 21. 3.87	10	10	10	–

DEPARTMENT: AUTOMOTIVE

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
33	A1.3	Engine Electrical and Electronic Equipment Service	6. 4.87 - 24. 4.87	10	10	10	-
34	A1.2	Fuel Injection System Service	8. 6.87 - 18. 6.87	10	6	6	-
35	A3.1	Engine Performance Test	8. 6.87 - 26. 6.87	10	4	4	-
36	A5.1	Vehicle Body Parts Repair	8. 6.87 - 26. 6.87	10	6	5	1
37	A5.3	Vehicle Body Parts Painting	6. 7.87 - 24. 7.87	6	6	6	-
38	A1.1	Specialized Engine Service	6. 7.87 - 24. 7.87	10	11	11	-
		TOTAL		370	268	260	8

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT	UNCERT
1	MD4 A.1	NC Turning	20. 5.85 – 7. 6.85	8	3	3	–
2	MD1 A.2	Heat Treatment	1. 7.85 – 19. 7.85	10	4	4	–
3	MD4 A.2	NC Milling	8. 7.85 – 26. 7.85	8	3	3	–
4	MD4 A.1	NC Turning	26. 8.85 – 13. 9.85	8	4	4	–
5	MD4 A.2	NC Milling	25.11.85 – 13.12.85	8	6	6	–
6	MD1 B	Drawing Die Making	11. 2.86 – 21. 3.86	10	1	1	–
7	MD4 B1	NC Wire Cutting	27. 1.86 – 7. 2.86	6	1	1	–
8	MD4 A1	NC Turning	24. 2.86 – 14. 3.86	8	6	6	–
9	MD4 B2	NC edm	28. 4.86 – 9. 5.86	6	4	4	–
10	MD4 B3	Automatic Copy Milling	16. 6.86 – 27. 6.86	6	3	3	–
11	H1 A.2	Advanced Heat Treatment	3. 2.86 – 21. 2.86	10	2	2	–
12	H1 A.1	Heat Treatment	7. 7.86 – 25. 7.86	8	4	4	–
13	MD 3.3	Tool and Cutter Crinding	28. 7.86 – 8. 8.86	5	4	4	–
14	MD4 A.2	NC Milling	11. 8.86 – 29. 8.86	8	3	3	–
15	MD 3.1	Surface, Cylindrical & Centreless Crinding	15. 9.86 – 26. 9.86	6	5	5	–
16	H1 A.2	Advanced Heat Treatment	6.10.86 – 24.10.86	8	3	3	–

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUTPUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
17	MD 1A	Shearing Die Making	3.11.86 – 12.12.86	10	5	5	–
18	MD4 A1	NC Turning	2. 2.87 – 20. 2.87	8	3	3	–
19	MD2	Tool, Jig and Fixture Making	2. 2.87 – 13. 3.87	4	5	5	–
20	MD 3.2	Form and Optical Projection Profile Grinding	6. 4.87 – 17. 4.87	6	1	1	–
21	MD4 A.2	NC Milling	27. 4.87 – 15. 5.87	8	7	7	–
22	MD 3.1	Surface Cylindrical & Centreless Grinding	4. 5.87 – 15. 5.87	6	2	2	–
23	MD 1C	Plastic Mould Making	8. 6.87 – 31. 7.87	8	2	2	–
24	MD 3.3	Tool and Cutter Grinding	8. 6.87 – 19. 6.87	5	5	5	–
		TOTAL		178	86	86	0

DEPARTMENT: FABRICATION

SECTION: WELDING & METAL FABRICATION/PRESSWORK

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	F3.1	Bending Works	20. 5.85 - 31. 5.85	10	1	1	-
2	F1.1	CO ₂ Arc Welding	12. 8.85 - 30. 8.85	10	1	1	-
3	F3.1	Bending Work	19. 8.85 - 30. 8.85	10	1	1	-
4	F3.2	Shearing Work	23. 9.85 - 27. 9.85	10	3	3	-
5	F1.2	Manual Arc Welding	6. 1.86 - 17. 1.86	10	3	3	-
6	F1.3	Tig and Mig Welding	16. 6.86 - 27. 6.86	10	7	7	-
7	F1.1	CO ₂ Arc Welding	25. 8.86 - 12. 9.86	10	8	8	-
8	F1.2	Manual Arc Welding	13.10.86 - 31.10.86	10	7	5	2
9	F1.3	Tig and MIG Welding	8.12.86 - 19.12.86	10	6	6	-
10	F2.1	Basic Metal Fabrication	17.11.86 - 28.11.86	10	1	1	-
11	F1.1	CO ₂ Arc Welding	12. 1.87 - 3. 2.87	10	7	7	-
12	F2.1	Basic Metal Fabrication	16. 2.87 - 27. 2.87	10	3	3	-
13	F1.2	Manual Arc Welding	16. 2.87 - 6. 3.87	10	7	5	2
14	F1.3	TIC & MIC Arc Welding	6. 4.87 - 17. 4.87	10	4	4	-
15	F1.1	CO ₂ Arc Welding	8. 6.87 - 26. 6.87	10	4	4	-
16	F2.2	Advanced Metal Fabrication	13. 7.87 - 31. 7.87	10	4	4	-
		TOTAL		160	70	66	4

DEPARTMENT: HEAVYSHOP

SECTION: FOUNDRY & CASTING/RUBBER/PLASTIC

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	H6.3	Plastic Injection Moulding Process	1. 7.85 – 19. 7.85	10	4	4	–
2	H2.1	Gating and Resering System	19. 8.85 – 6. 9.85	10	3	3	–
3	H6.4	Plastic Mould	14.10.85 – 25.10.85	10	4	4	–
4	H6.1	Plastic Machine	28.10.85 – 1.11.85	10	5	5	–
5	H5.1	Rubber Moulding and Moulding Product	17. 2.86 – 28. 2.86	10	6	5	1
6	H4.1	Investment Casting Technique	7. 4.86 – 25. 4.86	10	5	5	–
7	H6.1	Plastic Injection Moulding Machine and Mould	7. 4.86 – 25. 4.86	10	6	6	–
8	H6.2	Plastic Materials and Injection Moulding Process	7. 7.86 – 25. 7.86	10	3	3	–
9	H6.2	Steel, Copper Alloy and Aluminum Alloy Casting	14. 7.86 – 1. 8.86	10	2	2	–
10	H4.2	Advanced Investment Casting Technique	18. 8.86 – 5. 9.86	10	2	2	–
11	H2.2	Cast Iron Casting	2. 9.86 – 23. 9.86	10	1	1	–
12	H6.1	Plastic Injection Moulding Machine and Mould	2. 9.86 – 23. 9.86	10	1	1	–
13	H5.2	Rubber Materials, the Compounding and Mixing Technique	23. 9.86 – 10.10.86	10	2	1	1
14	H2.1	Cating and Riser System	6.10.86 – 24.10.86	10	3	3	–
15	H6.2	Plastic Materials and Injection Moulding Process	17.11.86 – 5.12.86	10	3	3	–
16	H5.3	Rubber Moulding (Injection)	12. 1.87 – 3. 2.87	10	3	2	1

DEPARTMENT: HEAVYSHOP SECTION: FOUNDRY & CASTING/RUBBER/PLASTIC

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
17	H5.1	Rubber Moulding Process and Moulding Product	23. 2.87 - 6. 3.87	10	2	2	-
18	H6.2	Plastic Materials and Injection Moulding Process	6. 4.87 - 24. 4.87	10	3	3	-
19	H3.1	Die Casting Technique	13. 4.87 - 1. 5.87	10	5	5	-
20	H2.2	Casting	8. 6.87 - 26. 6.87	10	7	7	-
21	H6.1	Plastic Injection Moulding Machine & Mould	13. 7.87 - 24. 7.87	10	3	3	-
22	H3.2	Advanced Die Casting Technique	13. 7.87 - 24. 7.87	10	3	3	-
TOTAL				220	81	76	5

DEPARTMENT: ELECTRICAL & ELECTRONIC

SECTION: ELECTRICAL/ELECTRONIC

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLLED	OUTPUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	EE1 A.1	Contact Circuit Relay Maintenance and Repair	20. 5.85 - 7. 6.85	10	7	6	1
2	EE 2.1	Motor Trouble Analysis	19. 8.85 - 6. 9.85	10	5	2	3
3	EE 1.2	Non Arcing	26.11.85 - 6.12.85	10	4	4	-
4	EE7 A.1	Disk Operating System	7.10.85 - 18.10.85	5	2	2	-
5	EE 1.1	Contact Circuit Relay Maintenance and Repair	28. 1.86 - 19. 2.86	10	9	8	1
6	EE 3.1	Motor Generator Control Testing	3. 3.86 - 21. 3.86	10	8	8	-
7	EE7 A.3	High Level Language/Fortran	12. 5.86 - 3. 6.86	5	2	2	-
8	EE 7.2	Assembly Language (Computer)	30. 6.86 - 18. 7.86	5	2	2	-
9	EE 1.3	Industrial Wiring and Distribution Panel Work	23. 6.86 - 11. 7.86	10	7	7	-
10	EE 2.2	Transformer Trouble Analysis and Repair	28. 7.86 - 8. 8.86	10	6	6	-
11	EE 1.2	Non Arcing Circuit Relay Maintenance and Repair	2. 9.86 - 16. 9.86	10	7	7	-
12	EE 2.1	Motor Trouble Analysis & Repair	13.10.86 - 31.10.86	10	4	4	-
13	EE 1.1	Contact Circuit Relay Maintenance & Repair	10.11.86 - 1.12.86	10	7	7	-
14	EE 3.1	Motor Generator Control Testing	19. 1.87 - 10. 2.87	10	10	9	1
15	EES	Advanced T.V. Service & Repair	26. 1.87 - 18. 2.87	10	4	4	-
16	EE 3.2	Motor Automatic Control	9. 2.87 - 23. 2.87	10	6	5	1

DEPARTMENT: ELECTRICAL & ELECTRONIC

SECTION: ELECTRICAL/ELECTRONIC

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
17	EE 7.2	Assembly Language	2. 2.87 - 23. 2.87	5	3	3	-
18	EE 2.2	Transformer Trouble Analysis and	30. 3.87 - 10. 4.87	10	6	6	-
19	EE 1.1	Contact Circuit Relay Maintenance and Repair	6. 4.87 - 24. 4.87	10	5	5	-
20	EE.4	Advanced TV Service and Repair	13. 4.87 - 1. 5.87	10	4	4	-
21	EE 2.1	Motor Trouble Analysis & Repair	8. 6.87 - 26. 6.87	10	5	5	-
		TOTAL		180	113	106	7

DEPARTMENT: INSTRUMENT AND AUTOMATIC CONTROL

No.	MODULE (SUB-MODULE)		COURSE PERIOD	CAPACITY	ENROLED	OUT-PUT	
	No.	TITLE				CERT.	UNCERT.
1	II.1	Temperature Measurement	18. 8.85 - 30. 8.85	8	5	5	-
2	I2.1	Pneumatic Instrument	2.12.85 - 13.12.85	8	3	3	-
3	II.1	Temperature Measurement	24. 2.86 - 7. 3.86	8	8	8	-
4	II.2	Pressure and Level Measurement	24. 3.86 - 4. 4.86	8	6	6	-
5	II.3	Flow Measurement	28. 4.86 - 9. 5.86	8	8	8	-
6	I2.1	Pneumatic Instruments	23. 6.86 - 11. 7.86	8	6	6	-
7	I2.2	Electronic Instrument	14. 7.86 - 1. 8.86	8	6	6	-
8	I3.1	Automatic Control	2. 9.86 - 29. 9.86	8	5	5	-
9	II.1	Temperature Measurement	13.10.86 - 24.10.86	8	1	1	-
10	II.3	Flow Measurement	8.12.86 - 19.12.86	8	2	2	-
11	I2.1	Pneumatic Instrument	5. 1.87 - 23. 1.87	8	4	4	-
12	I2.2	Electronic Instrument	9. 2.87 - 2. 3.87	8	7	7	-
13	I3.1	Feedback Control	16. 3.87 - 10. 4.87	8	3	3	-
14	I3.2	Hydraulic Control	8. 6.87 - 19. 6.87	8	3	3	-
15	II.1	Temperature Measurement	22. 6.87 - 3. 7.87	8	7	7	-
16	I2.2	Electronic Instrument	13. 7.87 - 31. 7.87	8	8	8	-
		TOTAL		128	82	82	-

資料 2. 主要供与機材一覽

DEPT: INSTRUCTOR & SUPERVISOR TRAINING

SECTION 1. PEDAGOGY

SECTION 2. AUDIO VISUAL AID

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	Mirror Drawing Instrument	1	1.	Overhead Projector	9
2.	Pursuit Tester	1	2.	T/P Produce Machine	2
3.	Coordinato Tester	1	3.	Slide Projector (Cabin)	2
4.	Micro computer	1	4.	Slide Projector (Elmo)	1
5.	Occupation Aptitude Test Set	2	5.	Slide Cassetter (Missing)	1
6.	Rotary Shlitter Camera	1	6.	8 mm Camera	1
7.	Monitor TV - Motion Analyzer	1	7.	8 mm Projector	1
8.	VTR (Ntsc Betamax)	1	8.	1/2 VHS VTR (Portable)	2
9.	Video Digital Timer	1	9.	Colour Video Camera (VHS)	2
10.	Chronocyclegraph	1	10.	1/2" VHS VTR	2
11.	Fucker Tester	1	11.	14" Colour TV	4
12.	Digital Stopwatch	1	12.	Cassette Recorder	2
13.	Electric Circular Saw	1	13.	35 mm Camera	1
14.	Electric JIG Saw	1	14.	Electronic Strobo	1
15.	Electric Drill	1	15.	Enlarger	1
16.	Electric Hand Planner	1	16.	Dryer	1
17.	Carpenter Tool Set	1	17.	Automatic Colour Slide Processor	1
18.	Electric Pret Saw	1	18.	35 mm Camera (Canon)	2
19.	Electric Grinder	1	19.	Renote Control Box	1
20.	Bench Drilling Machine	1	20.	Control Desk Unit	1
21.	Bending Heater for Polyacryl	2	21.	16 mm Projector	1
22.	Heat Cutter	1	22.	Sude Projector	1
23.	Copying Machine	1	23.	Audio Eack Unit	1
24.	Drawing Equipment	25	24.	Video Projector	2
25.	Ricoh Copy Machine	3	25.	Data Viewer	1
26.	Inaster Console Unit	1	26.	Colour Camera	2
27.	Inaster Tape Recorder	2	27.	Tripol	2
28.	Video Tape Recorder (VHS)	1	28.	AV Control Console Unit	1
29.	VTR/TV Console Box	1	29.	Slide Console Unit	1
30.	Monitor TV	2	30.	Telop System	1
31.	TV Stand	2	31.	Editing VTR	1
32.	Booth Console	10	32.	Editing Controller	1
33.	Booth Tade Recorder	20	33.	Editing Console	1
34.	Head Set	21	34.	Studio Monitor TV	1
35.	Room Speaker	1	35.	Portable VTR	1
			36.	VTR Dubbing System	1
			37.	Color Tele-Line System	1

DEPT: AUTOMOTIVE

DEPT: MACHINE OPERATION AND DIE MAKING

SECTION 1. MACHINE OPERATION AND DIE MAKING

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN-TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN-TITY
1.	Brake Tester	1	1.	Wasino Precision Lathe	10
2.	Chassis Dynamometer	1	2.	Milling Machine	6
3.	Slide Slip Tester	1	3.	JIG Boring Machine	1
4.	Exhaust Gas Analyzer	1	4.	Bench Drilling Machine	1
5.	Injection Pump Tese Bench	2	5.	Upright Drilling Machine	1
6.	Cylinder Boring Machine	1	6.	Shaping Machine	1
7.	Cylinder Honing Machine	1	7.	Slotting Machine	1
8.	Surface Grinder	1	8.	Automatic Copy Milling	1
9.	Engine Dynamometer	1	9.	CNC Lathe	1
10.	Generator Starter Test Bench	1	10.	CNC Milling	1
11.	Distributor Test Bench	1	11.	CNC EDM	1
12.	Wheel Alignment Indicator	1	12.	CNC Wirecut	1
13.	Auto Lift	1	13.	Engraving Machine	1
14.	Station Wagon	1	14.	Band Sawing Machine	1
15.	Micro Bus	1	15.	Hack Sawing Machine	1
16.	Body & Frame Repair System	1	16.	Cylindrical Grinding M/C	1
17.	Shearing Machine	1	17.	Surface Grinding M/C	1
18.	Hand Universal Bender	1	18.	Form Grinding M/C	1
19.	Painting Booth	1	19.	Bench Grinder with Dust Collector	1
20.	Air Compressor System	1	20.	Universal Tool Grinder	1
21.	Engine Analyzer	1	21.	Tungsten Carbide Bite Grinder	1
22.	Coil and Condenser Tester	1	22.	Centreless Grinder	1
23.	Timing Light	5	23.	Air Compressor	1
24.	Oil Changer	1	24.	Optical Projection Profile Grinder	1

SECTION 2. TEST CENTRE

SECTION 3. HEAT TREATMENT

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	Falling Ball Impact Tester	1	1.	Air Hammer	2
2.	Rockwell Hardness Tester	2	2.	Heavy Oil Furnace	1
3.	Rubber Hardness Tester	1	3.	Tank for Heat-Treatment	1
4.	Profile Projector	1	4.	Band Saw	1
5.	Surface Roughness Tester	1	5.	Bench Drilling Machine	1
6.	Tool Makers Microscope	1	6.	Bench Grinder	1
7.	Double Flank Gear Rolling Tester	1	7.	Cleaner Tank	1
8.	Roundness Mearusing Machine	1	8.	Unicase Atmospheric Furnace	1
9.	Tensile Strength Tester	1	9.	Tempering Furnace	1
10.	Universal Sand Strength Machine	1	10.	Optical Pyrometer	2
11.	Torsee's Universal Tesring Machine	1	11.	Metalurgical Microscope	2
12.	Charpy's Impact Testing Machine	1	12.	Electric Furnace	1
13.	Sand Washer	1	13.	Salt Bath Furnace	1
14.	Rotap Sieve Shanker	1	14.	Air Compressor	1
15.	Sand Rammer for Sand Specimen	1	15.	Spark Test Machine	1
16.	Permeability Tester	1	16.	Hardness Tester (Rockwell)	1
17.	Monitoring System	1	17.	Desiccator	2
18.	Yoke Type Magnetic Flaw Detector	1	18.	Number Puncher Driller	1
19.	Vickers Hardness Tester	1	19.	Speciman Dryer	1
20.	Brinell Hardness Tester	1	20.	Metallorgraphic Polisher	1
21.	Micro Vickers Hardness Tester	1	21.	Hand Press	1
22.	Ultrasonic Flaw Detector	1	22.	Medical Preezer	1
23.	Magnetic Flaw Detector	1	23.	Hand Power Press	1
24.	Standard Micro Structure	1	24.	Pipe Heater	2
25.	Metallurgical Microscope	1	25.	Portable Mixer	1
26.	Industrial X-Ray Inspection Unit	1	26.	Mounting Press (Hot Type)	1
27.	Schopper Type Thickness Gauge	1	27.	High Speedgrinding Cutter	1
28.	Specimen Punching Machine (Cutter Press)	1			
29.	Young Type Gravitometer	1			

DEPT: FABRICATION

SECTION 1. WELDING/METAL FABRICATION

SECTION 2. PRESS WORK

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	AC ARC Welder	15	1.	Air Compressor (GH-3)	1
2.	TUG ARC Welder	4	2.	Portable Spot Welder	1
3.	Pulsed-ARC Mig Welder	2	3.	Condenser Type Spot Welder	1
4.	CO ₂ Automatic Welder	5	4.	Power Press (NCP-1075)	1
5.	Submerged ARC Welder	1	5.	Hydraulic Press	1
6.	Engine Welder	1	6.	Press Brake	1
7.	Plasma Cutting Machine	1	7.	GAP Shear Machine (SHS- 6 X 205)	1
8.	Portable Flame Cutting Machine	2	8.	Food Shear	1
9.	Welding Positioner	1	9.	Power Press (NCP-1055)	1
10.	Welding Dryer Oven	1	10.	Sliding Pin Clutch	1
11.	GAP Shear Machine (SHS 13 X 205)	1	11.	Rolling Key Clutch	1
12.	Bench Drilling Press	3	12.	Friction Clutch	1
13.	Bench Grinder	3			
14.	High Speed Cut-Off Machine	1			
15.	Air Compressor (GN-5)	1			
16.	O ₂ Cylinder Manifold	10			
17.	C ₂ H ₂ Cylinder Manifold	8			
18.	Triple Roller Machine	1			
19.	Hydraulic Pipe Bender	1			
20.	Sharp Cutter	1			
21.	Pipe Threading Machine	1			
22.	Vibro-Shear	1			
23.	Automatic Flame Cutting Machine	1			
24.	Hand Lever Shear	1			
25.	Gas Mixer	1			
26.	Ultrasonic Flaw Detector	1			
27.	Disk Sander	1			

DEPT: HEAVYSHOP I

SECTION 1. FOUNDRY

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	High Frequency Induction Furnace	1	26.	Melting Pot	1
2.	Crucible Furnace	1	27.	Dip Seal Tank	1
3.	Mix Buller	1	28.	Rotating Slurry Mixing Tank	3
4.	Sand Blender	1	29.	Fluidiizer Bed	2
5.	Jolt Squence Moulding Machine	2	30.	Auto-Clave for De-Maxing	1
6.	Shot Blast	1	31.	Bake-Out Furnace	1
7.	Sand Blast	1	32.	Ladle Furnace	1
8.	Mould Hardness Tester GHT	2	33.	Cutting Machine	1
9.	Mould Hardness Tester DHT	2	34.	Belt Sander	1
10.	Moisture Tester	1	35.	Die Casting Machine KDK P-20	1
11.	Electric Drying Oven	1	36.	Die Casting Machine KDK 100 HT	1
12.	Automatic Balance	2	37.	Belt Sander	1
13.	Bench Drilling Press	2	38.	Forklift	1
14.	Bench Grinder	2			
15.	Shell Mould Machine	1			
16.	Vacuum Pump	1			
17.	Ray Thermometer	1			
18.	Thermometer	1			
19.	Thermocouple Pyrometer	1			
20.	Digital Thermometer	1			
21.	Air Compressor	1			
22.	WAX Injection Machine	1			
23.	WAX Melting Tank	1			
24.	WAZ Tempering Tank	1			
25.	Hot Plate	1			

DEPT: HEAVYSHOP II

SECTION 1. PLASTIC MOULDING

SECTION 2. RUBBER MOULDING

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	Plastic Injection Moulding Machine FS 55 S 50	1	1.	Horizontal Rubber Injection Moulding M/C	1
2.	Plastic Injection Moulding Machine FS 75 S 100	1	2.	Vertical Rubber Injection Moulding M/C	1
3.	Mould Temperature Controller NH-36-L Type	2	3.	Bale Cutter	1
4.	Hopper Dryer FNH-A Type	1	4.	Rubber Mixing Mill	1
5.	Hopper Loader FNL-402 Type	1	5.	Young Type Gravitometer	1
6.	Tumbler FNK-30 Type	1	6.	Cutter Press	1
7.	Crusher DN-180M Type	1	7.	Thickness Gauge 5 mm ϕ	1
8.	Plastic Injection Mould, 3-Plate Type, Pin-Point	1	8.	Compression Set Tester	1
9.	Plastic Injection Mould, 2-Plate Type, Side Gate	1	9.	Thickness Gauge 9.5 mm ϕ	1
10.	Bench Drilling Press B-13 Type	1	10.	Rubber Hydraulic Press	1
11.	Bench Grinder SG-255T	1	11.	JSR Curelasterometer	1
12.	Lifter: Kanto 150 Type	1			
13.	Scale Spring Balance 4 kg	1			
14.	Scale Spring Balance 20 kg	1			
15.	Platform Scale 250 kg. No.3	1			
16.	Scale Balance 500 g (1/1000)	1			
17.	Tachometer Model AL	1			
18.	Surface Thermometer Anritu HL-60F	1			
19.	Tool Set	1			
20.	Surface Plate Box Type	2			
21.	Hot Air Circulating Cabinet Dryer FN-75S	1			
22.	Parallel Vice Reed Type	4			
23.	Stop Watch	1			
24.	Ionization Water Purification Apparatus	1			
25.	Vacuum Cleaner	1			
26.	Pneumatic Filing Machine SH-100A Type	1			
27.	High Speed Rotating Polishing Machine	1			

DEPT: ELECTRICAL/ELECTRONIC

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	High Tension Incoming Panel	1	28.	Circuit Checking Device	5
2.	Low Voltage Motor Panel	1	29.	Balance Tester	1
3.	Low Voltage Lamp Panel	1	30.	Insulation Testing Equip	1
4.	Sequence Circuit Training Board (SR 10)	5	31.	FM Signal Generator	
5.	Distribution Training Board	10	32.	Withstanding Voltage Tester	1
6.	Sequence Training Board (SR - 104)	5	33.	Air Compressor	1
7.	Sony Monitor PVM - 91CE	10	34.	Pole Transformer	
8.	Logic Circuit System Trainer	2	35.	Electrostatic Voltmeter	1
9.	Telecamera	10	36.	Shield Room	1
10.	Color TV (Paeb)	10	37.	Interphone System	6
11.	Pal Color Pattern Generator	10	38.	Emergency PA System	2
12.	Personal Computer and Accessories	3	39.	Color VTR	2
13.	Logic Sequential Trainer	5	40.	SW Transceiver	10
14.	Logical Function Panel (360 A)	4	41.	Copying Machine H5-205	3
15.	Logical Function Panel (360 B)	4	42.	Diazo Copying Machine FT-3020	3
16.	Relay Sequential Trainer	5	43.	Electric Typewriter	5
17.	Electronic Control Trainer	5	44.	RF (High Freq) Volt Meter ML 69A Anritsu	2
18.	M.G. Control Unit MGM-224	1	45.	Personal Computer Fwitsu	1
19.	M-G Control Unit GM6-422	1	46.	Micro Computer (Tk. 85 I/C Board Source Tape Recorder)	1
20.	M-G Control Unit MDM-796	1	47.	Micro Computer (NEC PC-800)	1
21.	Parallel Operating Unit PRP-2	1			
22.	Electric Dynamometer EM 105	2			
23.	Electric Dynamometer EM 103	1			
24.	DC AVR	1			
25.	Coil Winding Machine	3			
26.	Dryer Oven	1			
27.	Protective Relay Tester	1			

DEPT: INSTRUMENTS AND AUTOMATIC CONTROL

MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY	MACHINERIES & EQUIPMENT		QUAN- TITY
1.	Furnance, Pipe Type 10W	2	29.	Pneumatic Position Transmitter	1
2.	Digital T' Meter with T, Couple	2	30.	Pneumatic Amplifier (Control Relay)	6
3.	Optical Pyrometer	1	31.	Electronic Differential Pressure Transmitter	4
4.	Wheatstone Bridge	1	32.	Indicating Pressure Transmitter	4
5.	SCR. Wattage Regulator with No Fuse Breaker	1	33.	Electronic Gauge Pressure Transmitter	1
6.	Pressure Tank Appratus	1	34.	Indicating Controller	4
7.	Pneumatic Absolute Pressure Transmitter	1	35.	Programmable Indicating Controller	4
8.	Pump Pressure Control Training Device	1	36.	Programmable Computing Unit	2
9.	Level Measurement Training Device	1	37.	Integrator	2
10.	Water Flow Training Device	1	38.	Isolator	1
11.	Air Flow Training Device	1	39.	Distributor	7
12.	30Tanks Level Training Device	1	40.	Indicating Controller	1
13.	Jacket Vessel Temp. Testing Device	1	41.	Pneumatic to Current Converter	1
14.	Vortex Flow Meter	1	42.	Process Simulator (Electronic)	5
15.	Dead Weight Pressure Gauge	1	43.	Pneumatic Process Simulator	4
16.	Pneumatic Differential Pressure Transmitter	4	44.	Servo Mechanism Training Device	1
17.	Pneumatic Indicating Transmitter	4	45.	Control Valve Training Device	5
18.	Pneumatic Indicating Controller	5	46.	Hydraulic Control Training Device	1
19.	Indicating Controller	3	47.	AC Voltage/Current Standard	2
20.	Pneumatic Indicating Controller with Datch	1	48.	Sequencer	1
21.	Pneumatic Auto-selector Controller	2	49.	Microprocessor Training Set	1
22.	Pneumatic Recorder	4	50.	X-Ray Recorder	1
23.	Temperature Transmitter	1	51.	DC Voltage/Current Standard	4
24.	Integrator	1	52.	Hawlet Packard Logic Lab	3
25.	Pneumatic Summing Unit	1	53.	DC Potentiometer	4
26.	Square Root Converter	1	54.	Flated Pen Recorder	4
27.	Pneumatic Analog Computer	1	55.	Digital Manometer	5
28.	Flange Mounting Pneumatic Diff. Pressure Transmitter	1	56.	Digital Multimeter	5
			57.	Pressure Gauge 300 ϕ	1

資料 3 RECOMENDATIONS AND ADVICES TO DIRECTOR GENERAL
OF MANPOWER DEPARTMENT, MINISTRY OF LABOUR,
PRESENTED BY CHIEF ADVISOR, CIAST

No.	Date	Subjects	Data
	1983		
1st	Aug. 25	1. 2 officials' visit to JAPAN 2. Submission of 'A2.3 Form' for 9 staff's training in JAPAN 3. Submission of 'A4 Form' for purchasing 2 cars and 1 copy machine	
2nd	Sept. 2	1. 2 officials' visit to Japan 2. Concept of CIAST advanced skill training	Recommendation letter to Secretary General
3rd	Sept. 16	1. Tentative scheme of dispatching Experts to CIAST 2. 2 officials' visit to Japan 3. Submission of 'A4 Form'	Tentative scheme of dispatching Experts
4th	Sept. 30	1. Programme of preparation for CIAST training 2. Presentations (supposed) by each Expert 3. Application of 9 fellowship (A2.3 Form)	Programme of Experts activities
5th	Oct. 14	1. Application of 1983 fellowship (A2.3 Form) 2. Request for 1984 fellowship	
6th	Oct. 28	Report on factory observation	A report on the factory observation
7th	Nov. 11	Places to be visited in Japan	
8th	Nov. 18	Definition of advanced skill training in CIAST	Fields to be covered by CIAST training
	1984		
9th	Feb. 7	Report on 1984 Chief Advisors Conference in Tokyo	
10th	Feb. 17	On the 1st CIAST Joint Committee	
11th	Feb. 27	Report on Johor & Singapore trip	Report on Johor & Singapore trip
12th	Mar. 2	On the Project Schedule Consultation Mission from JAPAN	
13th	Apr. 20	On internal & external committee activities	Organization of internal & external committees
14th	Apr. 27	1. Submission of 'A1 Form' for 9 experts 2. Submission of 'A2.3 Form' for 9 fellows 3. Possibility of other fellowship courses in JAPAN	

No.	Date	Subjects	Data
15th	May 11	Experts group activities	Japanese Experts specialization & cooperation
16th	May 25	1. Application of 9 fellowship (A2.3 Form) 2. Job description of Experts 3. On official trip allowance	Job description of CIIAST Experts
17th	June 1	Proposed schedule of CP training	
18th	June 8	1. Schedule of Mr. TAKAHASHI's activities 2. Application for CP training in fiscal 1984, 1985 3. Preparation for Automotive course	
19th	June 22	Application for 1984 fellowship	CIIAST counterparts training in JAPAN
20th	Aug. 10	1. On CIIAST Opening ceremony 2. The progress of 1983 fellowship 3. 1984, 1985 fellowship	
21st	Aug. 15	1. Certification system in CIIAST 2. Submission of 'A2.3 Form' for 1984 fellowship	Certification system in CIIAST
22nd	Aug. 24	1. Schedule of 6 new Experts 2. Placement of counterparts	Schedule of CIIAST
23rd	Sept. 7	1. Japanese Labour Minister's visit to CIIAST 2. Reflection of Module A1.1 training	
24th	Sept. 28	1. Placement of Counterparts 2. Certification system in CIIAST	
25th	Oct. 10	Submission of 'A2.3 Form' for 1984 fellowship	
26th	Oct. 22	Proposal on recruiting trainees	Proposal on recruiting trainees
27th	Nov. 16	1. Submission of 'A2.3 Form' for 1984 fellowship 2. Fellowship to Okinawa Japanese language course 3. JICA study team on curriculum	
28th	Nov. 23	1. Placement of training staff 2. Recruiting activities 3. Theft cases at Experts residence 4. Concept of advanced skill training in CIIAST	Activities for recruiting trainees Concept of advanced skill training
29th	Dec. 14	1. Application for short term Experts of Heat Treatment, Investment Casting, etc. 2. Training schedule in 1985 3. Placement of counterparts for 6 sections	Training schedule in phase II CIIAST

No.	Date	Subjects	Data
	1985		
30th	Jan. 18	1. Duration of Experts services 2. Request for 1985 fellowship 3. Subjects to be discussed with 2nd Advisory Survey Mission 4. The 4th report of factory observation	The 4th report of factory observation.
31st	Feb. 8	Report on Chief Advisors Conference	
32nd	Mar. 7	Principles of CIIAST training	Principles of CIIAST training (draft), Contribution of Experts
33rd	Apr. 5	1. Service period of 5 Experts 2. Request for CIIAST personnel	
34th	May 10	Request for Counterparts	Counterparts placement -1, -2
35th	May 17	1. Counterpart placement 2. Service period of 5 Experts 3. CIIAST pamphlet	
36th	May 31	Candidates for fellowship 1986	
37th	June 14	1. Request for fiscal 1986 fellowship 2. Request for 'group training' in fiscal 1986 3. Publication of 'Rainbow Contents' (Summary of Module contents)	On publication of 'The summary of CIIAST Module contents'.
38th	June 28	1. Introduction activities in state level 2. Preparation for opening ceremony 3. Mr. YAOI's visit	
39th	Oct. 15	1. 'AI Form' for Training Software Expert 2. Adjustment of 2 Experts fields	
40th	Nov. 5	1. 19 month schedule 2. Request for 28 Counterparts	19 month schedule A & B
41st	Dec. 5	Cooperation of Employment Offices for recruitment	Flow of state level training
42nd	Dec. 27	Chief Advisors Conference in Tokyo	
	1986		
43rd	Jan. 9	1. Term of Expert's services 2. 3rd Advisory Survey Team 3. CPs' service after fellowship in Japan	
44th	Jan. 15	The matters to be discussed with the 3rd Advisory Team	
45th	Feb. 3	Report on 1987 Chief Advisors Conference	Report on 1987 Chief Advisors Conference

No.	Date	Subjects	Data
46th	Feb. 7	Preparation for 4th Joint Committee	1. Course participants' output 1985 2. Progress of CP placement 3. Training schedule (1986.1 - 1987.7)
47th	Mar. 28	Request for the final inspection of CIAST facilities (to Mr. Sundram)	
48th	May 8	1. Application for group training in Japan 2. Development Schedule & CP placement 3. Extension of 11 Experts 4. Report on Jan. - Apr. activities.	1. List of group training in 1987 2. CP assignment & Module development 3. Placement of CIAST instructors 4. Courses couldn't be open because of few participants
49th	May 16	Application for 1986 - 1987 group training in Japan (to Mr. Abdullah bin Ali)	Group training courses & seminars by Japanese government
50th	May 21	Research course to be conducted by IVT for 1986 (to Mr. Ainul)	Detail of IVT research course
51st	May 28	1. To amend 19 months schedule 2. To submit the application for 6 CPs' fellowship 3. To finalize 1st series of CIAST industrial Committee (to Mr. Wan Seman)	
52nd	Jun 20	To submit the application for IVT high technology research course	Information of IVT research course
53rd	Jul. 1	1. Application of Mr. Abdullah's fellowship 2. Request for 1987 CP Training in Japan 3. Request for 1987 group training in Japan 4. Issuing Module certificate 5. Publishing 14 section leaflets etc.	
54th	Jul. 4	State level entrance test (to Mr. Wan Seman)	For easier participation to our entrance test.
55th	Jul. 14	Subject to be discussed with the September Japanese team	
56th	Sept. 4	Report from the discussion in TOKYO 1. Despatch of the 4th Advisory Survey Team 2. ASEAN Regional Training 3. Despatch of Short Term Experts 4. 1986 CPs Training in Japan	
57th	Sept. 19	The Extension of CIAST Project	A letter was submitted to DG
58th	Sept. 29	Subjects to be discussed in 5th JCM	Training demand from industry and training supply ability of CIAST

No.	Date	Subjects	Data
59th	Oct. 7	Extention of CIIAST Project	Concept on Module redevelopment.
60th	Oct. 23	Extention of CIIAST Project	
61st	Nov. 7	5th JCM	
62nd	Nov. 18	5th JCM 1. CPs to be assigned 2. Training material to be provided	Urgent request for CP personnel
63rd	Dec. 15	1. 1987 Chief Advisors Conference 2. ASEAN Regional Training	Tentative schedule for 1st CIIAST ASEAN Regional Training
	1987		
64th	Jan. 16	Preparation for ASEAN Regional Training	
65th	Feb. 4	Report from 1987 Chief Advisors Conference	
66th	Feb. 6	The level & function of CIIAST training (to Mr. WAN Seman)	1. Concept of CIIAST advanced s.t. 2. Training Method of CIIAST advanced s.t. 3. Participants composition of CIIAST training.
67th	Feb. 23	1. Visit of Japanese Auditors Team 2. Postponement of ASEAN RT	Schedule of ART Preparation
68th	Mar. 17	Delay of Expert housing allowance supply	
69th	Apr. 8	Delay of Expert housing allowance supply	Unpaid allowance for CIIAST Experts
70th	May 20	Delay of Expert housing allowance supply	Unpaid allowance for CIIAST Experts II
71st	Jun 11	Subjects to be discussed in the 6th CIIAST JCM	
72nd	Jun 15	Subjects to be discussed in the 6th CIIAST JCM (to New DSG, Mr. Lim Boh Ang)	
73rd	Jul. 1	Preparation for 6th JCM	
74th	Jul. 31	1. Sending a DG's letter on ASEAN RT to JICA 2. Making 'maintenance construct' for some sophisticated equipment 3. Regular checking on the electricity distribution facilities.	List of equipment to be under 'maintenance contract'

